

二水会

会報 115号



令和5年2月

姫路南プロバスクラブ

姫路南プロバスクラブ 例会報告(12月)

〈役員会〉日時：令和4年12月14日(水) 午前11時00分～11:50
11月24日園国交流会・八王子、中野会長出席171名参加
役員会8名参加

〈例会〉日時：令和4年12月14日(水) 午前12時00分～13:40
出席16名 欠席3名

◇委員会報告

※総務委員会

- ①12月例会 忘年例会 正午より 「桃李」にて
臨時会費=3,000円(フリードリンクとなっています)
- ②12月の誕生 稲田会員 坪田会員
- ③1月例会 1月11日(水) 12時30分～ 「新年にひとこと」
※なお、11時から「梅の間」にて役員会を行います。
- ④2月例会 2月8日(水) 12時30分～
会員卓話 研修親睦委員会 中塚会員
※なお、11時から「梅の間」にて役員会を行います。
- ⑤国際ロータリー第2680地区大会開催3月5日、神戸ポートピアホテル
アンケート 回答済
- ⑥相生プロバスクラブ10周年記念誌 届く 総務保管
- ⑦県プロバスクラブ交流会、中止 クラブ概要、活動状況、冊子、総務保管

※研修親睦委員会

- ①11月バス旅行参加は4,800円となりました。
参加された方は12月または1月に納入願います。

※会計

- ①期会費納入お願いいたします。(今月または1月)



例会風景

姫路南プロバスクラブ 報告事項(1月例会)

〈役員会〉日時：令和5年1月11日(水) 午前11時00分～

〈例会〉日時：令和5年1月11日(水) 午前12時30分～

出席16名 欠席 2名

※会長のひとこと

昨12月27日、病気加療中の近藤顧問がご逝去されました。

謹んで哀悼の誠をささげます。(黙禱)

◇委員会報告事項

※総務委員会

- ①1月例会 皆さんからの卓話 テーマ＝「新年にひとこと」
※11時から「梅の間」にて役員会を行います
- ②1月の誕生 前田会員 川本会員
- ③2月例会 2月8日(水) 卓話 ホテル日航姫路 山田総支配人
※11時から「梅の間」にて役員会を行います。
- ④3月例会 3月8日(水) 会員卓話 総務委員会担当

※なお、11時から「梅の間」にて役員会を行います。

- ⑤南ロータリー例会 1月30日(月) 新春市長講話 3名参加
12:00～順次食事 12:30～13:15 例会
会費 3,000円 (後日一括納入します)
- ⑥3月5日(日) 国際ロータリー地区大会 今年度は不参加
- ⑦本日、記念誌用顔写真撮影します。
- ⑧令和5年度総会は、4月18日(火)開催予定。
- ⑨篠山プロバスクラブが20周年を迎えられ、その記念として例会で歌っておられる“篠山プロバスクラブの歌”のCDを作成、記念の品としていただきました。

※会 計

- ①ニコニコ報告 中野会長 (健康で楽しいプロバスクラブ) 明石 (新年おめでとう)
大橋 (明けましておめでとう) 岡本 (新年おめでとう) 川本 (ひとりになりました)
前田 (新年おめでとう・前進) 濱口 (新年が良い年になるように)
- ②後期会費 15,000円、未納の方は納入をお願いします。

新年の一言

中野会長 (規則正しい生活、ゴルフ、散歩、家庭菜園) 明石 (卯年、84歳、健康第一)
大橋 (先輩が亡くなられた) 岡本 (健康第一) 長谷川 (本年も宜しく)
前田 (誕生日) 濱口 (新年おめでとう、本年も宜しく)

中野会長・新年のご挨拶

中野 剛

新年あけましておめでとうございます。
会員の皆様には輝かしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。
令和5年の正月は晴天に恵まれ幸先の良い1年のスタートとなりました。
新型コロナウイルス感染症が広がりを見せてから3年が経過しました。
行動制限が緩和された中で第8波に突入しておりますが、これまでの経験
と教訓を活かしながら、感染防止対策と社会経済活動を両立させる「ウイ
ズコロナ」の時代に入ったと言えるでしょう。

昨年プロバスクラブの活動を反省してみますと、4月の定期総会以降概ね事業計画に沿って実施することが出来ました。姫路南ロータリークラブ社会奉仕フォーラム・ビヤパーティー・バス旅行・外部講師講演忘年例会・赤穂、相生との合同ゴルフコンペ・全日本プロバス協議会第10回総会

令和4年度は残すところ3か月ですが、現在3月末完成を目指して、20周年記念誌の作成に取り組んでおります。併せて令和5年度総会に向けての計画を検討中であります。

最後になりましたが、”みんなが主役、みんなが脇役、誇りある楽しい活動を”を目指して姫路南プロバスクラブのさらなる発展と皆様方のご多幸をお祈り申し上げます。

以上



中野会長挨拶





役員会

『4万 km を歩いた男、伊能忠敬の「人生二度有り」』（シリーズその18）

松下秀明 記

蝦夷地開発で日本を活性化した兵庫津のつわもの達

まず、兵庫津の歴史を簡単に振り返りたい。古文書に残る初出は天平十三年(741)「行基年譜」に大輪田船息の記載があり、行基による大輪田泊修築がされたとある。つまり、それ以前にも港はあったのだろう。行基が設けた摂播五泊(他は、河尻(かわじり)、魚住(うおずみ)、韓(から)、室(むろ))の一つ、大輪田泊で知られていた。その後、平清盛が日宋貿易のために整備し、室町時代には足利義満の日明貿易の拠点として栄えた港である。804年には、第四回遣唐使として、空海や最澄が旅立った港である。ちなみに、鎌倉時代の末期以降に使われた兵庫津の起りは、大化の改新の際、播磨国境の須磨関を守るため、現在の神戸市兵庫区周辺に兵器庫「兵庫(つわものぐら)」が作られたことに由来する。兵庫県の名前の由来でもある。

兵庫津は江戸時代中期に尼崎藩が商業を支援し大いに栄えたが、それをみて幕府が天領とした結果、次第にさびれてしまった。そこで北風家 63 代当主北風荘右衛門は蝦夷地との商売を増大させることで莫大な利益を得て、兵庫津の栄華を取り戻した。この背景には、大坂の港は淀川の土砂で埋まり、大型船が停泊できなくなっていた。兵庫津は大きな川もなく、六甲山からの水は勢いよく海に流れて土砂が堆積しなかったのである。大坂港の外港として蝦夷地からの荷物をここで小舟に移し替えて大坂港へ運んだのだが、やがて兵庫津にも荷物が下ろされるようになって、さらに栄えるようになった。

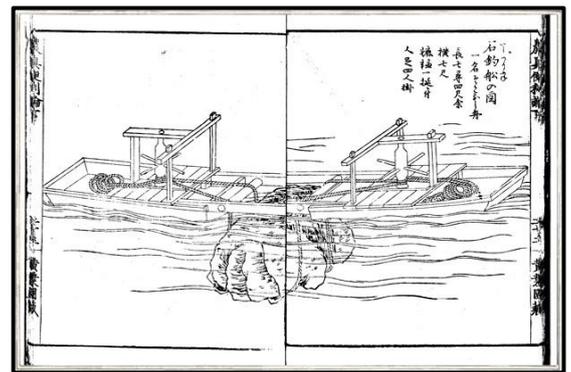
北風家は荘右衛門の手腕で、「北風の兵庫津か 兵庫津の北風か」と呼ばれていた。その背景には次のような戦略があった。すべての船頭や水主(かこ)に対し、蒸気風呂と温泉を用意し、食事とお酒も無料でふるまった。たとえ見知らぬ人までも集まって、経験豊かな船頭は若手衆にノウハウなどを教える教育の場でもあった。彼らから得られる情報を大切にし、商売の判断にしていた。私は嘉兵衛も松右衛門もそこで知り合ったと思っている。なぜなら嘉兵衛も松右衛門も荘右衛門の絶大なる支援を受けて成長していったのである。特に嘉兵衛は、最初荘右衛門から無償で廃船をもらい受け、それを修理して初めて船の所有者になった。その後もさまざまな支援をもらい、26 歳で自身の船、

千五百石船の「辰悦丸」を新造することができた。嘉兵衛と松右衛門はさらに、幕府の政策に協力し、蝦夷地の開発や、エトロフ、ウルップの探検、アイヌの処遇改善、ロシアの南下を防ぐため、日口の信頼を構築することにも貢献した。ただし、蝦夷地での貿易が盛んになり大坂の廻船問屋ともやりとりをするようになってからは、北風家との関係は悪化していった。

工樂松右衛門は寛保三年(1743)高砂市東宮町で生まれた。松右衛門は理系の船頭で、いろいろな発明をした。一番の成果は当時使われていた船の帆を改良し、蝦夷地を一往復すると取り替えなければならなかった帆を、2～3往復できる耐久性のある帆を発明した。「松右衛門帆」と呼ばれていた。高砂・加古川地方が綿の産地であることに目をつけ、現在のテント地のような分厚い丈夫な布を織って帆にした。松右衛門42歳のときである。それを独占せず、希望する人にノウハウを教え、工場を建設することを勧めた。その結果、一時ほとんどの船が松右衛門帆を採用した。それによって、蝦夷地での商売で飛躍的に発展した嘉兵衛と松右衛門帆で大儲けした松右衛門であった。

高砂に御影屋本店があり、工樂松右衛門の帆を使ったトートバッグや小物を製造販売している。姫路にもあると聞いて尋ねてみた。本町商店街のアンテナショップ道満である。あまり大きな店ではないが製造販売をしている。店主の話では先代が松右衛門の子孫と相談して作り上げたそうだ。高砂の御影屋本店は自分を真似したと言っていた。

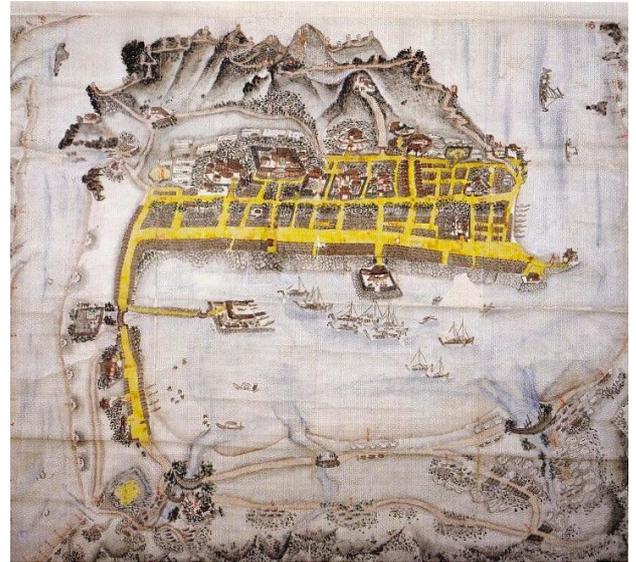
松右衛門は優秀な船乗りであったが発明家でもあった。近藤重蔵から依頼を受けて択捉に港を作ることになった。港を浚渫し、岸壁や防波堤を作るのに機材や石が必要となる。海底を浚渫する浚渫船、くい打ちをするくい打ち船(右図上)、大きな石を高砂から運ぶ潜水艦のような運搬船(右図下)と、今までに誰もできなかったことをやり遂げた。彼が考案した船や道具のうち15点ばかりが、江戸後期の農学者大蔵永常の『農具便利論(三巻)』に鮮明な図ともに掲載されている。おかげで択捉や函館に立派な港を築くことが出来た。幕府からも大きな信頼を得、名字を授かった。それは「工樂」である。享和二年(1802)、「工事を楽しむ」「工夫を楽しむ」という意味を持った「工樂」の姓を幕府から賜った。以降、松右衛門は工樂松右衛門となった。なお、嘉兵衛が店を開いた箱館の港も松右衛門が構築したものといわれている。



さらに、松前から帰ってくる北前船の昆布を大量に上方に提供した。昆布を料理のダシに使い、上方料理の味を変えた。昆布以前と昆布以後とでは、味覚の歴史は大いに変わった。もう一つ、新巻鮭の発明である。松前(蝦夷地)から運ばれている鮭は塩鮭で、塩のかたまりを食べているようにからいものであったが、松右衛門は松前で食べた鮭の味がわすれられず、この風味をそのまま上方に届けた。新巻鮭の発明者である。製造方法を変え、早舟で運んだ。

松右衛門は高砂の竜山石を使って、箱館の船たて場を造営した。

有名な高砂の竜山石は皆さんもご存知の2号線からも列車からも石切り場を見ることが出来る。平成26年10月に、「石の宝殿及び竜山石採石遺跡」が国指定史跡に指定された。松右衛門の出身地である高砂にある竜山石。兵庫県庁の情報では、「これまで白亜紀(約1億年前)の火山活動によって噴出した火山灰が凝固してできた流紋岩質溶結凝灰岩とされてきたが、近年は高砂市の調べにより当時宝殿周辺はカルデラ湖の底に沈んでいたことがわかり、湖底に噴出したマグマが湖水によって急速に冷却、破碎されてできた流紋岩質ハイアロクラスタイト(水冷破碎岩)であったことが判明している」とあり、硬度・粘度が高く加工が容易で、色彩に富み、周囲との調和がとりやすい。その色合いから青竜石、黄竜石及び赤竜石の3種類がある。固い割には割れ目が少なく、大きな石が取れる。しかし、最盛期には100軒ほどあった石材店が今は3軒になっているそうだ。



松右衛門が造営した箱館の湊(船たで場)は、この竜山石を高砂から運んだ。工樂松右

衛門公式サイトによると、「土木学会編『明治以前日本土木史』(岩波書店)によると、「寛政11年箱館築島船渠(船たで場のこと)の築造に当たり、彼はこれを担任し、印南郡石の宝殿山に産する耐火石を彼の持ち船に積み、箱館に渡航し、船渠築造に使用し文化元年竣成せり。時に年62歳なり。」と書かれています」と説明されている。記録では船たで場(修理ドック)であるが、おそらく築港工事も竜山石を使うように指示したであろう。右図上は高田屋旧蔵箱館絵図。湊の石垣が見て取れる。

高砂市阿弥陀町に生石神社(おうしこじんじや:右図中、下)がある。宝殿山山腹にある神社である。大きな浮石ごときをご神体とし、奈良時代の書物『播磨風土記』には「聖徳太子の時代に物部守屋が造った」という記録があり、1500年以前にすでにこの巨石は存在していたことになるという。石の宝殿が作られたのは7世紀ごろ。つまり日本に仏教が入ってきた時期である。ひろかず氏のブログによると、「松本清張氏は『火の路』で、「石の宝殿」は、ゾロアスター教(祆教)の拜火壇であるとの説を主張しておられます。(中略)竜山石の大石は高さ5.7メートル、幅6.5メートル、奥行きは屋根形の突起をいれて7メートル、重さが500トンもあり、ご神体だが自由に触れることが出来る」と書かれており、大和に運んで祭壇にする予定だったのだろう。一方、青木一夫氏の『兵庫史の謎』(神戸新聞総合出版センター)では、

「・・・物部氏は、大石が持つ神聖を信じてい



生石神社。中谷与助『播磨名所図絵』(明治26年)による

ました。日本古来の信仰は大きな岩などに霊力があるとする自然信仰です。物部氏は、「大きな石を置くことにより、その霊力で仏教が日本に入ること防ぐことができる」と考えたようです。とにかく、「この東播磨の地で大石をつくり、その霊力で仏教の侵入を防ごうとしたのではないかと想像されるのです。つまり、大和に仏教が入る手前の東播磨の地でこの大石をつくろうとしたのではないのでしょうか」ということで、大石は仏教の侵入を防ぐために物部が作りかけたが、蘇我氏に敗れたため、中断してしまったと仮説を立てた。いずれにせよ、古代史にその名前が載っているということは、歴史的意義のある遺跡である。ちなみにシーボルトもこの生石神社のスケッチを残している。

山片蟠桃(やまがたばんとう)の商売と学問の二刀流？

山片蟠桃は、寛政元年(1748) 現高砂市米田町神爪生まれ。石の宝殿の近くである。大坂では、父・小兵衛の兄がふたり、二代目升屋(米問屋)に仕えていた。初代の久兵衛は小兵衛の伯父にあたるから、父の兄は伯父のところへ養子に入って久兵衛の名を継ぎ、升屋に奉公していたことになる。その兄が、蟠桃が生まれた年に急に亡くなり、蟠桃が升屋に入ることとなった。升屋の商いは忙しかったが、学問への情熱は失うことなく、また主人からの支援もあって、かつてこの紙面で紹介した懐徳堂で中井竹山・履軒兄弟に朱子学を、先事館で麻田剛立に天文を学ぶ。よって、至時や重富とは兄弟弟子である。

ここから商売と学問の二刀流の人生が始まったのである。

当時升屋の大名貸の相手は仙台藩で膨大な借金をしていた。仙台藩との取引は主に相場変動が激しい米であった。升屋もお家が潰れるかもしれないと危惧していたが、仙台藩への経済的なアドバイスと経営努力で何とか続けられていた。蟠桃の手腕である。おかげで全国の50もの藩と取引を持つ大名貸になった。

55才の時、自分の考えをまとめるため『夢の代(ゆめのしろ)』の作成に取りかかり、20年の歳月をかけて完成させた。『夢の代』は極めて唯物論的な立場を取り、天文・地理・神代・歴代・制度・経済・経論・雑書・異端・無鬼(上、下)・雑論の12巻に分かれている。ウィキペディアによると、『『夢ノ代』の冒頭である「天文編」で地動説と太陽系を紹介し、太陽系と同じものが宇宙に無数にあることや万有引力説を説いている(中略)日本神国論も否定し、国生みは夫婦であるイザナキ・イザナミ二神の生殖行為を示すものとの見解を述べている。また五行説(万物が木火土金水の五つの気から成るという説)を儒学者の妄説とし、天災もその実は人災であると鋭く批判している」と解説している。変わったところでは、現在いわれている地球外知的生命の存在を示唆したことである。宇宙には我々が知らない別の生命体があると蟠桃は言及した。蟠桃が『夢の代』を書いている時に、レザノフ事件が起こった。米を積んだ仙台藩の船が拿捕されたのである。蟠桃はロシアの世界周航には大賛成であったが、ロシアとの取引には否定的であったといわれている。

蟠桃は仏教、儒学、神道などの解く非科学的な世界観を鋭く批判し、徹底した合理主義的世界観を開陳した。その事例を同じ高砂出身の作家木村剛久氏が『蟠桃の夢』で書いている。蟠桃は故郷神爪村の覚醒寺住職に、仏教めいた書簡を送っている。その内容は、「第一の疑問。ある經典によると、西方十万億土後には極楽と呼ばれる別世界があって、阿弥陀と呼ばれる仏がおられるとのこと。しかし地球の周囲は、日本里で測るとおよそ一万里(約四万キロ)、(中略)十万億里というのは、地球を一万回ぐるぐる回る距離のことでしょうか。(中略)つまり、いくら西に向かっても極楽には到達できないのです」と、かなり意地の悪い質問を投げかけている。

余談であるが、高砂商工会議所で行われた木村氏の講演会で、蟠桃の高砂での過ごし方が述べられている。「子ども時代のもうひとつの遊び場だった「石の宝殿」のことを懐かしく思い浮かべるわけです。この日記は、『この静窟、石の宝殿は天女が作ったものだと世間では伝えている。四方三歩（ぶ）有半〔約7メートル〕、高さ二丈六尺〔約8メートル〕の石造物が据えられているさまは奇怪で、子どものころから、ここで遊ぶたびに、不思議な石だなと思いつつ、謎はとけずにいまに至っている。おそらく大昔に穴をうがって作ったものだろうが、まさに天下の珍とっていい』と書かれており・・・」と、先に述べた生石神社を宇宙と想っていたといわれている。

もう一つ、木村氏は「蟠桃が高砂の塾に通っていた宝暦のころ（1760年ごろ）、高砂は大坂方面への播州米の積み出し港としてもっともにぎわっておりました。（中略）それまでは反対側の加古川東岸河口あたりが、高砂泊と呼ばれていました。（中略）加古川西岸に位置する現在の高砂に移転しようと計画したのは、関ヶ原の戦功で姫路城主となったばかりの池田輝政です。元の町をそっくり移転して、わざわざ新たに港を築いたのは、何か理由があったのでしょうか。ともかくも家康から播磨国に封じられた輝政がおこなった初仕事が、姫路城改築と高砂町の建設だったわけです」と述べている。

（つづく）以上

フィッシングショー

日時 令和4年2月4日(土)5日~(日)9~17:00

会場 INTEX大阪 3・4・6号館AB 大阪市住之江区

《水辺で出会った夢・感動》
大阪釣具協同組合

フィッシングショー OSAKA 2023

2月4日(土) 5日(日)
AM9:00-PM5:00 AM9:00-PM5:00



最新情報を Webで公開中!!
e-OSAKA
Follow Us

リアル

国内最大規模の釣りの祭典! インテックス大阪で3年ぶり開催!!

6号館・3号館 広くて見やすい 釣具展示会場!! 4号館 ベテランからファミリーまで!! お楽しみのイベントホール!!

入場料 一般当日券 2,000円(2・4・5) **お得な** 一般前売券 1,600円(2022.12/1~2023.2/3) **中学生以下: 入場無料!!**

インテックス大阪へは電車&シャトルバス!!

Osaka Metro 東山線・千代田線 中心駅 徒歩 約5分	Osaka Metro 東山線・千代田線 トレードセンター前駅 徒歩 約8分	Osaka Metro 中環線 コスモスクエア駅 シャトルバス 徒歩 約7分	Osaka Metro 中環線 徒歩 約9分
------------------------------------	---	--	---------------------------

インテックス大阪(3・4・6号館A・B)

※シャトルバスは「コスモスクエア駅」と「インテックス大阪」を約7分(片道110円-税込)
※駐車場が混雑するため電車等のご利用をオススメします。

買ってお得! 遊んでお得!!

- 釣具の即売会(4号館)
- お楽しみ大抽選会(4号館)
- 書籍・ビデオ販売コーナー(4号館A)

釣りファン大集合!

- フィッシングスクール(4号館)
- ファミリー釣り場ガイド(4号館)
- 競技釣り ●キルラクターすくい(4号館)
- 競技 ●バトルフィッシング
- トリックアート(4号館)
- スタンプ工房(4号館)

体験しよう!

- 体験魚拓教室(6号館A)
- 中学生以下&レディース体験マス釣り(※小学生以下は保護者同伴必須)(4号館)
- 体験仕掛&釣り方教室(4号館)

お子様・ファミリーに!

- スタンプラリー(3・4・6号館)
- 子どもお祭り広場(4号館)
- 競技釣り ●キルラクターすくい(4号館)
- 競技 ●バトルフィッシング
- トリックアート(4号館)
- スタンプ工房(4号館)

グルメコーナー!

- マグロの解体ショー(4号館)
- まんぷく屋台村(屋外特設会場)

※新型コロナウイルス感染症等の状況により中止、内容変更、入場制限等する場合がございます。
※観覧により37.5度以上の発熱や体調不良がある場合、入場をお断りする場合がございます。

主催/大阪釣具協同組合 後援/大阪府・大阪市・(公財)日本の釣り会・(一社)日本の釣具工業会・全国釣具公正取引協議会 協賛/全日本の釣具会

みんなが主役、

みんなが脇役

『シラネリア』 2月14日

楽しくなければ

“愛に快活”

プロバスではない

川 柳

都合のいいときだけ

後期高齢者

友が逝き 携帯

削除できぬまま

濱口浩平 選



《 編集後記 》

皆様におかれましては、素晴らしい新年をお迎えになられた事と存じ上げます。本年もプロバス活動に、ご協力お願い致します。今後とも宜しくお願い申し上げます。

第115号 令和5年2月8日 姫路南プロバスクラブ（二水会）
姫路市南駅前町100 ホテル日航姫路601号室
姫路南ロータリークラブ事務局内
電話 079-224-8224（FAX288-3941）
会報発行：総務委員会・広報担当・濱口浩平